

先週の2月24日で、ロシアがウクライナに侵攻してから、ちょうど1年が過ぎました。「ウクライナの東側で集団殺害が行われている」とする根拠のない主張でロシアのプーチン大統領が始めた戦争は民間施設への無差別攻撃や虐殺もあり、市民の犠牲が増え続けています。その数は2万人を超えたとされています。この戦争は終わる見通しが全く立っていない状況です。私たちは、なくなる戦争のことや平和のありがたさに対してこれからもずっと考え続けていかなければなりません。日々の暮らしの中でこのようなことを思い続けるのは難しいことだと思いますが、大きく取り上げられるような節目の時などに、戦争や平和について考える習慣をつけていって欲しいです。

ところで先日、4年生では、国語科で「調べたことをほうこくしよう」という学習をしました。2組のある班が挨拶について調べてくれました。質問の中に、「あいさつをしていて気持ちがいいですか？」と「あいさつをきいていて気持ちがいい？」という項目がありました。両方の質問とも、クラスの全員が「気持ちがいい」と答えてくれました。やはり挨拶は大切だということが、この調査からもよくわかりました。そして、これは4年2組にかぎったことではないと思います。

気持ちのいい挨拶は、相手にとっても気持ちがいいものですし、人間関係をよくしていくために大切なものです。挨拶週間が終わって、だいたい1か月がたちますが、引き続き授業の始まりや終わり、「いただきます」や「ごちそうさま」など、朝の挨拶にかぎらず、どのような場面でも気持ちの良い挨拶を心がけていってくださいね。